

## 法律科目試験 「刑事法系」 問題

I 次の事項について、400字以内で説明しなさい。

- ・遅過ぎた構成要件実現

II 次の事例における甲の罪責を論じなさい（特別法違反の点は除く。）。

甲（男、23歳）、X（男、30歳）、Y（女、33歳）は遊び仲間で、XとYは交際しており、甲は年上の二人からいじめを受けていた。

或る日、甲とXは飲食店に行った。食後、Yに電話をするためにXが一時席を離れた際、甲は、Xが置いて行った鞆の中に、XがYと一緒にいくと自慢していた演奏会の切符2枚（価格合計2万円）の入った封筒があるのに気付いた。甲は、普段自分をいじめる二人への嫌がらせとして、どこかに捨てるつもりでこれを取り出して、自分の鞆の中に入れた。しばらくして戻って来たXは、封筒がなくなったことに気付かないまま、甲を促して店を出て、二人は別れた。甲は、封筒を捨てる場所を探しながら自分の住む団地に向かって歩いたが、適当な場所が見付からなかった。帰宅した甲が、念のためにこの演奏会について調べると、自分にとって興味深い内容であることが分かったため、1枚は捨てずに使うことにし、数日後の演奏会当日にこの切符で会場に入場して、演奏を楽しんだ。余った1枚は会場のごみ箱に捨てた。

一方、切符がなくなったために演奏会に行けなかったXとYは、甲が切符を持ち去ったのではないかと怪しんだ。特に怒りの激しかったYは、甲を追及するために、Xが止めるのも聞かずに一人で甲の部屋を訪れた。Yから詰問された甲は、白状して謝ったが、なおもYから一方的に責め立てられたため、自らも常日頃のXとYによる自分の扱いへの不満を抑え切れなくなった。そこで甲は、台所から包丁を持ち出し、Yに屈辱を味わわせると共にXにも心痛を与えようと、Yを包丁で脅しながら全裸になるよう命じ、恐怖心から抵抗できずこれに従ったYの身体を、自己の携帯電話機で写真撮影した。その後、XとYが警察に届け出たため、甲の一連の犯行が明らかになったが、甲の部屋での犯行の際に、甲に自らの性欲を満足させる意図があったことは認定できなかった。